

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公害保健福祉事業			事業番号	011-223
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療
					課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—	—	—
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	昭和 49 年度		点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	公害健康被害の補償等に関する法律			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	公害認定患者 973人	対象数	単位	
			973	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	ぜん息に関する予防薬、吸入薬、吸入器の使い方などについての保健師による指導や、インフルエンザ予防接種の費用助成により、公害認定患者の健康を回復、保持、増進させることを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・家庭療養指導：公害認定患者に対し、日常生活の指導、保健療養指導等を行う。 ・インフルエンザ予防接種費用助成：予防接種を受けた認定患者の予防接種負担金額を助成する。			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）				
10	公民連携・協働事業				

Ⅱ．事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度	
	公害認定患者の障害等級の維持・軽快の割合	%		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				目標値	100	100	100	100
				実績値	99	99		
				達成率	99%	99%		
当該指標を選定した理由	公害認定患者の健康の回復、保持、増進を目的としたものであるため							
目標値の設定根拠・算出方法	障害等級が維持または軽快している患者の割合							
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
	家庭療養指導人数	人		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
				目標値	772	731	692	
				実績値	672	667		
				達成率	87%	91%		
当該指標を選定した理由	より多くの公害認定患者への療養上の指導を行い、その健康の回復、保持、増進を図るものであるため							
目標値の設定根拠・算出方法	家庭療養指導対象人数（全認定患者数－市外在住・施設入所の患者数）							

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	公害保健福祉事業	事業番号	011-223
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	9,448	8,891	9,665	9,022	10,918
財源内訳	国支出金			0		0
	府支出金			0		0
	市債			0		0
	その他（福祉事業負担金）	1,218	2,892	7,248	2,916	8,189
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	8,230	5,999	2,417	6,106	2,729
14	人件費（b）	6,890	7,040	7,020	7,020	6,720
15	年間経費（c）=（a）+（b）	16,338	15,931	16,685	16,042	17,638

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	会計年度任用職員報酬	決算	6,188	4,188	封筒等印刷製本費	決算	15	10		
		予算	6,381	1,595		予算	21	5		
	期末勤勉手当（会計年度任用職員）	決算	1,162	787	通信運搬費	決算	133	90		
		予算	2,393	598		予算	137	34		
	費用弁償（訪問旅費）	決算	47	32	インフルエンザ予防接種費用助成金	決算	893	604		
		予算	91	23		予算	1,187	297		
	費用弁償（通勤費）	決算	568	384		決算				
		予算	692	173		予算				
	消耗品費	決算	16	11		決算				
		予算	16	4		予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和4年度	令和5年度
	①	家庭療養指導人数	人	672	667
	②	上記①にかかる年間経費	千円	15,931	16,042
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	23,707	24,051
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和5年度は、コロナ禍の期間中に縮小していた自宅訪問による家庭療養指導を積極的に再開した。これにより、訪問旅費などの支出額が前年度比増となり、単位あたり経費の増加につながった。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和5年度は、コロナ禍の時期に控えていた訪問による家庭療養指導を積極的に再開した一方、対面での面談に不安を感じる方に対しては、電話等による指導を継続的に実施し、それぞれのニーズに応じた形で患者の健康の回復、保持、増進に寄与した。
----	--